ＦＤ・ＳＤ共通

プログラム番号　08211～2A

New!!

大学の危機管理

ー研究室マネジメントとハラスメント対応ー①②

■講師

佐藤　浩章
（愛媛大学教育・学生支援機教育企画室　副室長・准教授）
北海道大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学。2002 年度から、愛媛大学で授業改善・カリキュラム開発・組織開発の方法、学生の学習・生活の支援に取り組む。この間、米国ポートランド州立大学客員研究員、名古屋大学客員准教授、北海道大学客員准教授、筑波大学客員研究員、国立教育政策研究所客員研究員、キングスカレッジロンドン客員研究フェローを兼任。

阿部　光伸
（愛媛大学　教育・学生支援機構　教育企画室　特任助教）
東北大学大学院教育学研究科修了。専門学校での 15 年の教員生活を経て、平成 15 年から東北文化学園大学に勤務（学生課長、教務部長、学園事務局部長）。学生課長・教務部長時代に学生・教職員にかかる事件・事故等に対応。平成24年4月から現職。SD、学生リーダー養成を担当。（H24 年度 SDC 認定）

吉田　一恵
（愛媛大学　総務部人事課　課長（危機管理室　副室長兼務）
愛媛大学法文学部法学科卒業。愛媛大学理学部、医学部、農学部、研究協力部、国際交流センターで主に総務、国際交流を担当、広報室副室長（命室長）、広報室長を経て現職。広報室時から現在まで危機管理室副室長を兼務し、記者会見等を所掌、報道対応マニュアル等を作成、現在は、特に人権侵害事案に対応すると共に人材育成（SD）に取り組んでいる。

■プログラム概要

1）研究室マネジメント（前半担当：佐藤）
　日本の大学において研究室教育は、学生にとっても教員にとっても重要な教育の場になっていることが実証されています。しかしながら、研究室をどのようにマネジメントして効果的に教育をするかについて学ぶ機会は少ないのが実態です。また学生の多様化に伴い、研究室がうまく機能しない事例も増えています。本プログラムでは、研究室教育が現在置かれている環境を概観するとともに、愛媛大学で実施された研究室教育の調査や優良研究室の事例研究を通して、効果的な研究室教育のマネジメント手法を学びます。
2）ハラスメント対応（後半担当：阿部・吉田）
　あなたが、今、何気なく行っているその言動は、ハラスメントではありませんか？　本プログラムでは、大学等において、今、身近にあるハラスメントについて説明すると共に、ハラスメントが起こった時の初期対応、未然に防ぐための気づきについて考えます。特に、複雑かつ多様化するハラスメントについて、具体的事例を挙げながら、「ケースメソッド」により省察し、①ハラスメント認定のポイント、②ハラスメントが起きた場合の対処方法、③ハラスメント「施策」を導き出していきます。

■主な受講対象

全教職員

■本プログラムの到達目標

1）研究室マネジメント
　1．研究室教育をとりまく状況を説明できる
　2．自身の研究室の特徴を把握する
　3．研究室への参加を促す仕組み（研究室ポリシーと年間行事）を作ることができる
2）ハラスメント対応
　1．ハラスメントについて、説明することができる
　2．ハラスメントの事実認定ができる
　3．ハラスメントに対処できる
　4．ハラスメントの予防対策を構築することができる

■日時・会場・受講定員

日　　時　：　平成25年8月21日（水）10：00～15：00
会　　場　：　愛媛大学　城北キャンパス　共通教育講義棟　2階　23番教室
定　　員　：　40名